

## 報告事項セ

平成23年度学校保健統計調査結果について

平成23年度学校保健統計調査結果について、別紙のとおり報告します。

平成23年12月22日

鳥取県教育委員会教育長 横濱 純一

# 平成23年度学校保健統計調査結果について

スポーツ健康教育課

## 1 調査の目的

文部科学省が所管する基幹統計調査であり、学校における幼児、児童及び生徒の発育状態及び健康状態を明らかにすることを目的とする。

## 2 調査の範囲・対象

文部科学大臣が指定した県内142校（幼稚園、小学校、中学校、高等学校）に在籍する5歳から17歳（平成23年4月1日現在）までの幼児、児童生徒の一部。  
（抽出率 発育状態：18.6%、健康状態：70.4%）

## 3 調査結果の概要（詳細は別添のとおり）

### 県内幼児、児童生徒の発育状態

#### 身長（別添 P.2～3）

- ・男子は、6歳、8～10歳、12歳、14～17歳の各年齢で全国平均値を上回っている。
- ・女子は、6歳、8歳、14～17歳の各年齢で全国平均値を上回っている。
- ・10歳、11歳で、女子が男子を上回っている。

#### 体重（別添 P.4～5）

- ・男子は6歳、8～10歳、17歳で上回り、12歳で同じとなっているほかは、全国平均値を下回っている。
- ・女子は7～9歳、13歳、14歳、17歳で上回り、6歳で同じとなっているほかは、全国平均値を下回っている。
- ・11歳で、女子が男子を上回っている。

#### 座高（別添 P.6～7）

- ・男子は7歳で下回り、5歳で同じとなっているほかは、全国平均値を上回っている。
- ・女子は12歳、13歳で下回っているほかは、全国平均値を上回っている。
- ・10歳～12歳で、女子が男子を上回っている。

#### 30年前（親世代）との比較（別添 P.3～7）

- ・身長は、全ての年齢において30年前（親世代）を上回っている。
- ・体重は、男子5歳、女子5歳、15歳、16歳で下回り、17歳で同じとなっているほかは、30年前を上回っている。
- ・座高は、男子5歳、7歳、女子5歳、6歳、12歳で下回り、男子6歳、女子14歳で同じとなっているほかは、30年前を上回っている。

### 肥満傾向児の出現率

- ・全国平均値に比べ、全ての学校区分で低い。

### 痩身傾向児の出現率

- ・全国平均値に比べ、小学校を除く学校区分で高い。

肥満傾向児とは、性別・年齢・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が20%以上の者。

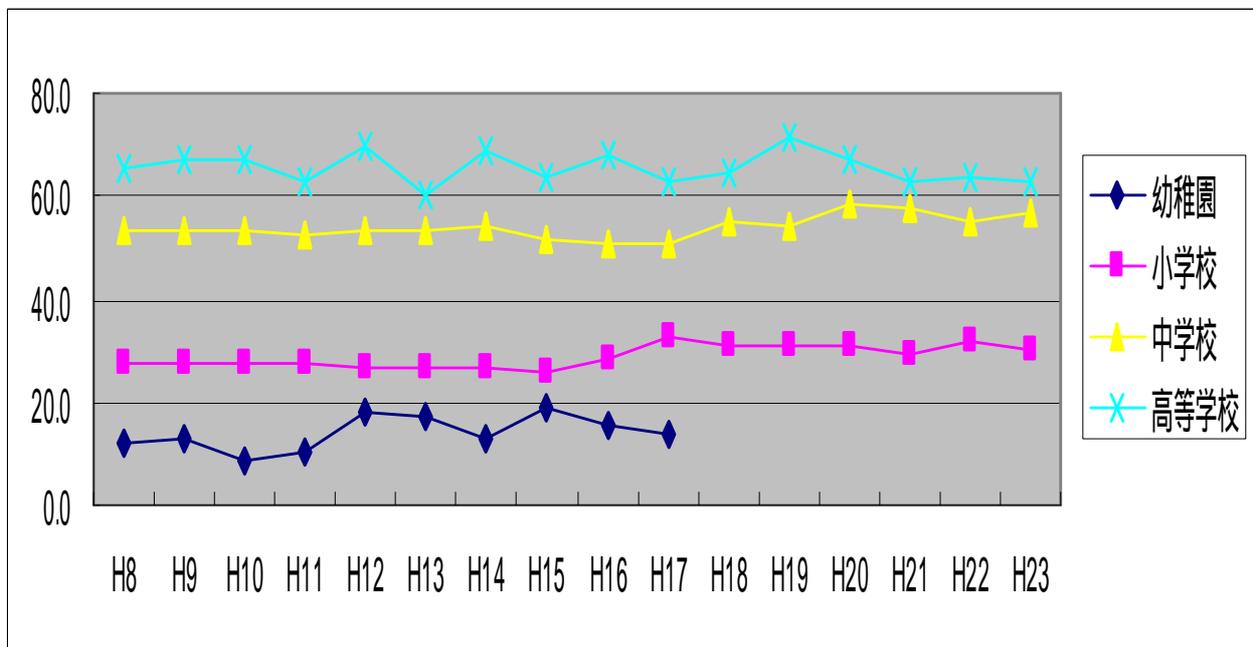
痩身傾向児とは、性別・年齢・身長別標準体重から肥満度を求め、肥満度が-20%以上の者。

( )全国平均値との差 %

区分	肥満出現率	痩身出現率
幼稚園 5歳	1.12 (-1.15)	0.39 (0.02)
小学校 11歳	7.68 (-1.13)	2.90 (-0.12)
中学校 14歳	7.83 (-0.13)	2.31 (0.15)
高等学校 17歳	8.03 (-1.64)	2.18 (0.47)

## 県内児童生徒の健康状態（疾病・異常）（別添 P.8～9）

### 裸眼視力1.0未満



(%)

(%)

H23	鳥取	全国
幼稚園	x	25.48
小学校	30.5	29.91
中学校	56.5	51.59
高等学校	62.4	60.93

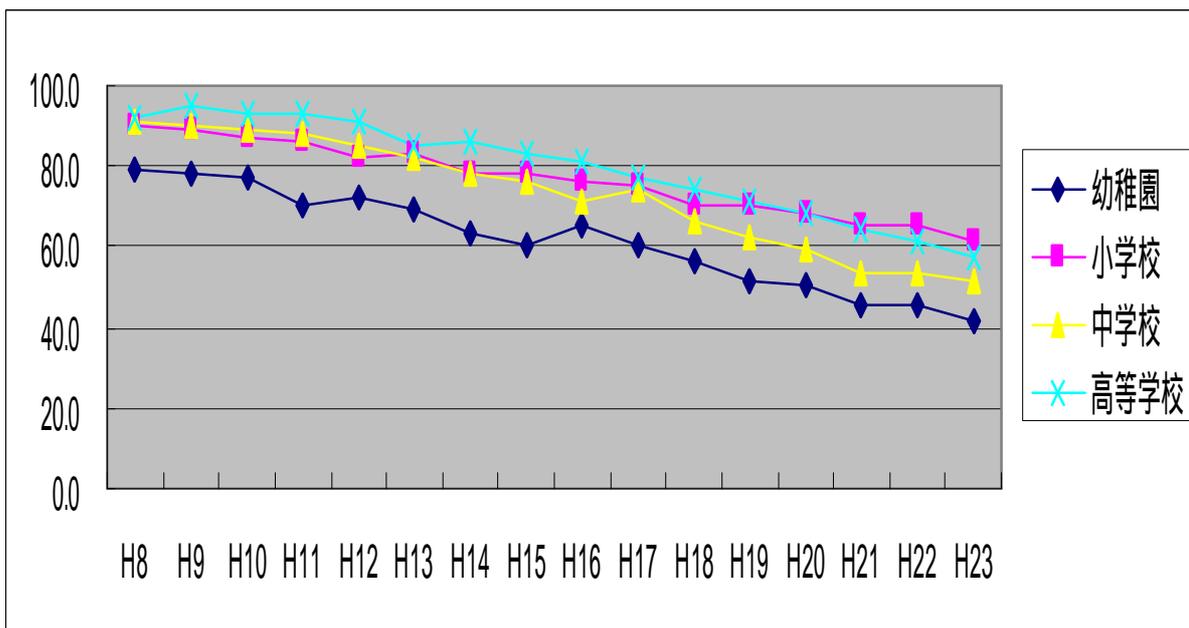
「x」は、サンプル数が少なく、誤差が大きい(標準偏差が5%以上)ため統計数値を公表されていない。

幼稚園のH18、H19、H20、H22、H23に記録がみられないのは、そのためである。

- ・県内の年次推移を見ると、中学校で微増しているが、小学校、高等学校でわずかではあるが減少している。
- ・全国平均に比べ、幼稚園を除く全ての学校区分において全国平均値より高い。

## むし歯(う歯)

(%)



(%)

H23	う歯 計		処置完了者		未処置のある者	
	鳥取県	全国	鳥取県	全国	鳥取県	全国
幼稚園	41.3	42.95	15.4	16.91	25.9	26.04
小学校	60.9	57.20	29.7	28.65	31.2	28.56
中学校	51.1	48.31	33.8	26.75	17.3	21.56
高等学校	57.8	58.46	35.4	32.24	22.4	26.22

- ・ 県内の年次推移を見ると、どの学校区分も、う歯保有率が低下している。
- ・ う歯保有率は、小学校と中学校において全国平均値より高い。
- ・ 処置完了者は幼稚園を除く全ての学校区分において全国平均値より高い。
- ・ 未処置歯のある者は、小学校を除く全ての学校区分で全国平均値を下回る。

## ぜん息

- ・ 全国平均値に比べ、幼稚園を除く全ての学校区分において疾患率が高い。
- ・ 疾患率は小学校・中学校・高等学校において、全国平均値のほぼ2倍ある。特に小学校男子が10.1%と高い。

## アトピー性皮膚炎

- ・ 全国平均値に比べ、全ての学校区分において疾患率が高い。
- ・ 幼稚園を除く全ての学校区分において、全国平均値のほぼ2倍である。

## H23 全国平均値との比較 (%)

区 分	ぜん息		アトピー性皮膚炎		
	鳥取	全国	鳥取	全国	
男子	幼稚園	1.0	3.24	3.6	3.11
	小学校	10.1	5.21	8.4	3.64
	中学校	6.8	3.43	5.2	2.66
	高等学校	4.2	2.16	5.1	2.27
女子	幼稚園	1.4	2.32	2.8	2.63
	小学校	6.1	3.43	7.0	2.94
	中学校	3.9	2.21	5.3	2.16
	高等学校	2.9	1.71	4.4	1.85

### 30年前(親世代)との比較

- ・全ての学校区分において、う歯は大幅に低下しているが、裸眼視力1.0未満と喘息は増加している。

「x」は、サンプル数が少なく、誤差が大きい(標準偏差が5%以上)ため、統計数値を公表されていない。

### 30年前(親の世代)との比較(鳥取県) (%)

区 分	裸眼視力 1.0 未満		むし歯(う歯)		ぜん息	
	H23	S56	H23	S56	H23	S56
幼稚園	x	8.58	41.3	92.05	1.2	0.43
小学校	30.5	15.01	60.9	96.31	8.1	1.18
中学校	56.5	35.44	51.1	96.35	5.4	0.34
高等学校	62.4	60.59	57.8	97.62	3.5	0.04